

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	地域医療推進専門家養成事業			担当部局庁	医政局	作成責任者	
事業開始年度	平成19年度	事業終了 (予定)年度	平成30年度	担当課室	地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室	室長：松岡 輝昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成24年3月30日医政発0330第28号「医療計画について」平成24年3月30日医政指発0330第9号「疾病又は事業及び在宅医療に係る医療体制について」等		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域完結型の医療提供体制を構築するため、都道府県における地域医療推進のリーダーの養成をするとともに、リーダー間の交流を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療提供体制の推進には、地域における主体的な施策の立案、実施が必要である。そのため、関係法令及び制度についての理解、関係データの収集、評価及び分析手法等の実践的技術、関係者間の調整能力等を有する専門家を養成するための研修を行う。						
実施方法	直接実施						
予算額・執行額 (単位：百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算の状況	当初予算	2	0.7	0.7	0.7	0.7
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計	2	0.7	0.7	0.7	0.7	
	執行額	0.5	0.6	0	-	-	
執行率 (%)	25%	86%	0%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	25%	86%	-	-	-		
平成29・30年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	庁費	0.5	0.5				
	諸謝金	0.1	0.1				
	委員等旅費	0.1	0.1				
	計	1	1				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度		
	作業部会(地域の実情に応じた医療体制を構築するための協議の場)を開催する都道府県数を増やす	作業部会を開催した都道府県数	成果実績	県	39	42	47	-	-		
			目標値	県	39	42	47	-	47		
			達成度	%	100	100	100	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	厚生労働省医政局調べ										
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込			
	研修会の回数	活動実績	回	1	1	0	0	-			
		当初見込み	回	1	1	1	1	1			
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込				
	X / Y X: 執行額 Y: 実績	単位当たりコスト	円	500,000	500,000	-	-				
		計算式	X / Y		500,000/1	500,000/1	0/1	0/1			
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	地域において必要な医療を提供できる体制を確保すること									
		施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標 I-1-1)								
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
		-	実績値	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	研修を行うことにより、地域医療推進のための都道府県のリーダーを養成し、地域医療構想の実現を含む医療提供体制を構築する都道府県のサポートをすることができる。										
	改革項目 (第一階層) KPI (第二階層) KPI	分野:	-								
		KPI (第一階層)	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値				-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-	-			
KPI (第二階層)		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値		-	-	-	-	-	-			
達成度	%	-	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	都道府県が医療提供体制を構築するため、地域医療推進に資するリーダーが必要であり、その養成には国費を投入す
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医療提供体制構築に対する支援であり、国が積極的に実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	都道府県が医療提供体制を構築するため、地域医療推進に資するリーダーが必要であり、その養成の優先度は高い。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	地域医療構想など、近年の大幅な医療制度改革の状況を踏まえ、拙速で不完全な研修を避けるため、事業全体の実施を見送ったため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	×	地域医療構想など、近年の大幅な医療制度改革の状況を踏まえ、拙速で不完全な研修を避けるため、事業全体の実施を見送っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	×	地域医療構想など、近年の大幅な医療制度改革の状況を踏まえ、拙速で不完全な研修を避けるため、事業全体の実施を見送っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	地域の医療提供体制を構築する上で、都道府県におけるリーダー養成が果たす役割は重要であり、過去には着実な実績をあげてきたが、近年の実績はない。また、地域医療構想の策定など都道府県の医療施策に中長期の視点が入り入れられた近年の制度改革の状況等を踏まえ、事業内容について、さらなる精査が必要。	
	改善の方向性	2025年に向けた医療提供体制の構築に向け、養成の実効性をさらに向上する必要があるため、本事業は終了し、民間委託を含む新たな事業形態での養成を検討する。	

外部有識者の所見

地域医療体制の構築を目的としているが、予算額僅少でこの事業のみで実効性を期待するのは難しく、他の類似事業との連携を以って判断すべきである。同事業の在り方を見直す必要がある。(増田 正志)

行政事業レビュー推進チームの所見

一 事業
部の
改善
内容

予算額僅少でこの事業のみで実効性を期待するのは難しく、他の類似事業との連携を以って判断すべきという外部有識者の所見を踏まえつつ、改善の方向性に記載のある通り、民間委託を含む新たな事業形態での養成を検討すること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年
善度
討を
検に

年度内に、民間委託を含む新たな事業形態での養成の手法を検討する。

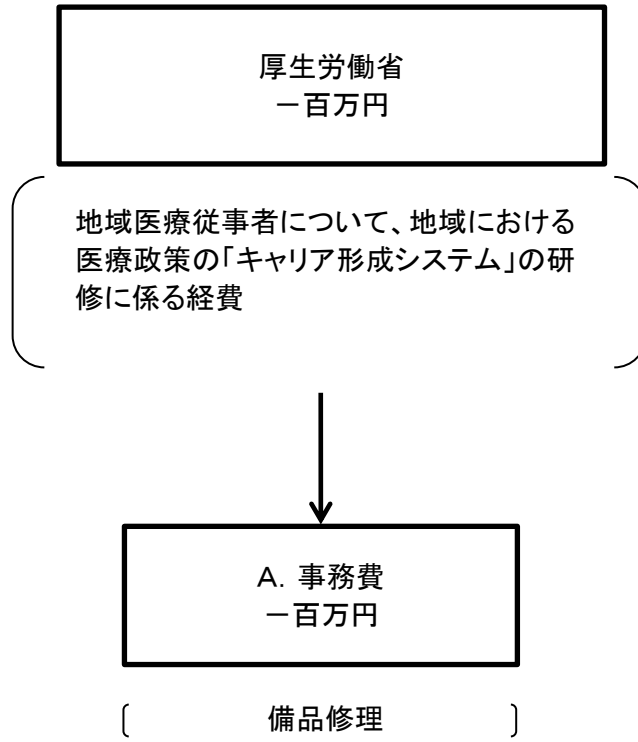
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	44	平成23年度	37	平成24年度	38		
平成25年度	17	平成26年度	16	平成27年度	14		
平成28年度	14						

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

執行実績がないため、過年度のイメージを記載



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位：百万円)

